令和４年 10 月２４日（月）サビエル高等学校にて
令和４年度『薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室』を開催
山口東京理科大学、医薬品適正使用・乱用防止推進会議と共催

制作：山口東京理科大学　和田光弘
監修：NPO J-DO

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）は、国民に「くすり」を安全に安心して使っていただくために薬剤師や国民に対する教育講演や学会を開催しています。その活動の一つとして、薬物乱用防止講演会を行っています。

サビエル高等学校の学校関係者、山口東京理科大学および医薬品適正使用・乱用防止推進会議のご協力により、令和４年10月２４日（月）、サビエル高等学校にて、令和４年度『薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室』を下記の内容で開催しました。

当日は、普通科２年生 56 名および教員６名対して講演会を行い、生徒さん達には具体的な内容で大変分かり易かったと好評でした。

講演風景

サビエル高等学校における
令和４年度『薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室』

日時：令和４年10月２４日（月）15：25～16：15
場所：サビエル高等学校　視聴覚教室

内容：

１．薬物乱用防止　イントロダクション

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構、愛知県保健医療局生活衛生部医薬安全課および塩野義製薬と共同で作製した薬物乱用防止アニメーションを用いて薬物乱用の定義及び概要を学習した。

２．乱用されている薬物の正しい情報

日本で乱用されている代表的な乱用薬物について説明するとともに、最近若年層で特に乱用が増えている大麻と市販薬のオーバードーズについて特に詳しく説明を行った。現在日本で行われている取り締まり状況、海外での状況とその歴史的な背景について説明し理解を深めた。

３．薬物乱用はどうして怖いのか？

薬物乱用により引き起こされる「依存」の恐ろしさについて説明するとともに中毒症状で発現する幻聴・幻覚・妄想の恐ろしさついて具体例を示しながら解説した。

４．薬物乱用に対してみんなができることは？

友達が薬物使用しているとき、自分が薬物を強要された時などの場面で、どの様に対応するべきかを解説した。

５．乱用薬物を用いた薬学研究

山口東京理科大学薬学部分析科学分野　和田先生の研究グループで行っている光分析を用いた乱用薬物の分析法について研究データを用いてわかりやすく解説した。

講演は、山口東京理科大学 和田光弘先生がスライドを使ってわかりやすく説明し、生徒さんたちはその話に聞き入っていました。

高校生の皆さんには、改めて薬物乱用について正しく学び、その危険性について理解いただけたと思います。